



地域の広場を活用した防災拠点づくり

地域の防災拠点をつくろう

防災まちづくりにおいては、日ごろから地域防災活動やコミュニティを育む活動を行っていくことが大切です。このような地域防災活動の拠点として広場や公園を活用してみたいかがでしょうか。活用にあたっては地域住民からアイデアや意見を募りながら、地域防災力向上のための取組を進めていきましょう。

point

01 防災拠点づくりのアイデア

- 地域コミュニティ活性化のためのイベント実施
- 一時避難場所としての使い方ワークショップの開催

海老江西地区での実践例

福島区海老江西地区のえびえにし防災広場は、地域の憩いの場として地域住民が維持管理・運営を行いながら、防災活動や地域コミュニティを育む場として活用されています。



広場全景



広場に整備された防災設備（マンホールトイレ）



広場で育ったハーブを使ったハーブティー試飲会



広場の畑でじゃがいもを収穫するイベント

東桃谷地区での実践例

生野区東桃谷地区のももに広場では地域防災力の向上（地域コミュニティの活性化）に向け、防災避難訓練や地域コミュニティ活動など、様々なイベントが「ももに広場管理運営会」の企画・運営により、継続的に行われています。



「ももに広場誕生祭」イベントの様子



広場に整備された防災設備（かまどベンチ・雨天対応スペース）

私たちが取り組んでいます！



ももに広場管理運営会
岸村会長

私たちの地域は戦災に遭わなかったため、戦前の過密なまちなみがまだ残っています。そのため、地震や火災に弱いという防災上の課題を抱えています。これまで、地域には避難場所がなく、駐車場を避難所として使えるよう所有者にお願いしていました。ももに広場は土地を所有している民間企業から「地域に貢献したい」という申し出を頂いたことをきっかけに、大阪市の制度を活用して整備しました。

広場の整備にあたっては、3～4回にわたって専門家と一緒にワークショップを開催するなど、地域住民の合意を形成することに努めました。

今では住民発意のもと、たくさんのイベントを行っています。毎月開催している「青空カフェ」では住民が寄り合って花を飾りお茶を楽しみます。この場があることで、会話や思いやりが生まれ、地域のつながりが育まれます。有事の際には人を気にかけるということが大切ですので、日頃からつながりを育む場づくりは、防災面からみても重要です。また、広場で感じたことを川柳で発表する会報を発行したり、地域住民の自己実現の場としても活用しています。

地域で管理する防災空地をつくる



解体した跡地を防災に活かす

公園などが少ない密集市街地において、古い木造住宅を解体した跡地を空地とすることで、火災の燃え広がりを防ぐ効果があります。

また、空き地を“一時避難所”として活用することで地域の防災に活かしていくことが可能です。

地域で管理する

自主防災組織や自治会などの地域組織で、交流スペース等として管理することで、地域住民にとって普段から慣れ親しむことができる場所とするとともに、所有者の負担も軽減することが可能です。防災空地に活用できそうな場所が区内にあれば、ご相談ください。

point

01 大阪市の「防災空地活用型除却費補助制度」を活用する

- 大阪市では、密集住宅市街地における古い木造住宅のさらなる除却促進を図るため、一部の地域を対象に、老朽木造住宅を解体し、跡地を災害時の避難等に役立つ防災空地として活用する補助制度を実施しています。
- 本制度を活用し防災空地として整備した場合、土地の固定資産税・都市計画税が非課税になります。（整備の翌年以降から無償使用貸借契約の終了年まで）

01

土地所有者/地域住民等/市の三者で協定を締結

02

木造住宅の解体
空地の整備

03

防災空地の維持管理

<防災空地が地域にできあがるまでの流れ>

詳細は、大阪市都市整備局までお問い合わせください。

大阪市都市整備局 市街地整備部住環境整備課 密集市街地整備グループ（電話：06-6208-9233）

point

02 防災空地の日常利用のアイデア

- コミュニティスペースとして、イスやテーブルを置いてみる
- 花壇をつくって、種まきや収穫イベントを実施する



生野区林寺の防災空地

point

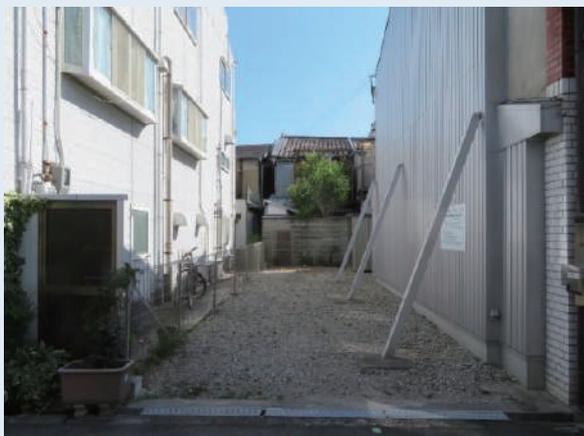
03 防災空地の効果を高めるアイデア

- 防災備蓄倉庫を設置する
- サインで防災広場の場所をわかりやすく表示する



勝山地区での実践例

生野区勝山第4振興町会では、補助制度を活用し古い木造住宅を解体後、災害時の避難に役立つ空地として整備し、常時解放しています。維持管理は地域住民が行い、防災活動やコミュニティを育む防災広場として活用されています。



勝山地区の防災空地

私が取り組んでいます！



勝山第4振興町会
蛭田会長

勝山地区にある防災空地は、もともと自宅を2軒所有していた住民の方が補助制度を使って1軒を解体し、地域に貢献したいという意向があって生まれました。補助制度を使うにあたって、住民の方から町内会にお話があり、町会と大阪市の三者で協定を結びました。今はまだ防災倉庫を置くだけにとどまっていますが、ベンチやプランターを置いたりして憩いの場にしたいと思っています。

密集市街地の防災性向上を支援する補助制度

補助制度を活用しよう！

大阪市では、古い木造住宅の「解体」「建替え」等に対する補助制度を実施しています。

| | |
|-----------|---|
| 古い木造住宅の解体 | 狭い道路に面した古い木造住宅を解体する場合、解体費用の一部を補助 |
| 古い建物の建替え | <p>【集合住宅への建替え】</p> <p>古い建物を集合住宅（マンション、アパートなど）に建替える場合、設計費用、解体費用、共同施設整備費用の一部を補助</p> <p>【戸建住宅への建替え】</p> <p>隣接する土地を売買で取得して、戸建住宅に建替える場合、設計費用、解体費用等の一部を補助</p> |
| 耐震化の促進 | <p>【耐震診断・耐震改修・耐震除却】</p> <p>一定の要件を満たす民間戸建住宅等の耐震診断費用・耐震改修工事費用・除却工事費用の一部を補助</p> |

（令和3年度版）

大阪市ホームページへの掲載

密集住宅市街地の整備と補助金制度について

<https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000255852.html>

大阪市 密集

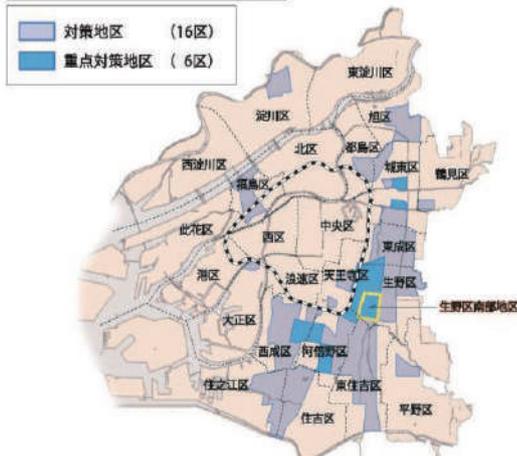
検索



※紙面の都合上、対象エリアの詳細や補助要件などを省略しています。

詳しくは下記窓口までお問い合わせください。

対象エリアMAP



補助制度に関する相談・お問い合わせ窓口

大阪市都市整備局

耐震・密集市街地整備受付窓口

(住まい情報センター4階 ⑤番窓口)

電話：06-6882-7053

営業時間：(平日・土曜) 9:00~19:00

(日曜・祝日) 10:00~17:00

休館日：火曜日(祝日の場合は翌日)

祝日の翌日(日・月を除く)

年末年始

おわりに

密集市街地における地域防災力の向上を目的に、地区防災計画の改定の進め方や地域課題に対する取組事例などを取りまとめ、「地域防災力向上のススメ -密集市街地の防災活動アイデア集-」として作成いたしました。

本冊子の作成に際し、防災活動をご紹介いただきました地域の皆さまをはじめ、ご協力いただきました皆さまに心より感謝を申し上げます。

大阪市では、引き続き地域の皆さまとの連携を深め、安心して暮らすことのできるまちづくりに向けて、密集市街地整備を推進してまいりますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

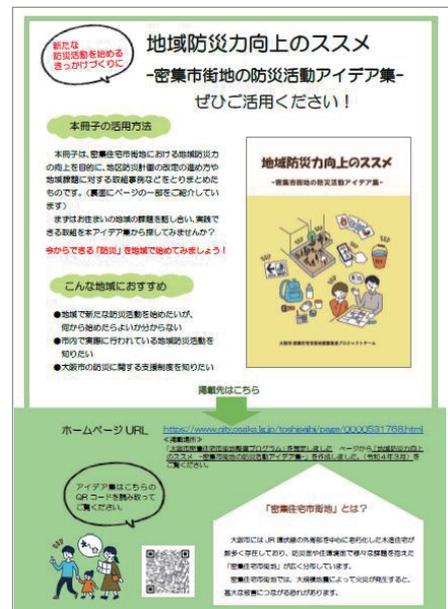
大阪市 密集住宅市街地整備推進プロジェクトチーム

「地域防災力向上のススメ -密集市街地の防災活動アイデア集-」は大阪市HPに掲載しています。
※下記 URL または QR コードより閲覧していただけます。

<https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000531768.html>

＜掲載場所＞

- 「大阪市密集住宅市街地整備プログラム」を策定しました ページから
- 「地域防災力向上のススメ -密集市街地の防災活動アイデア集-」を作成しました。(令和4年3月)をご覧ください。



※記載されている内容は発行時点の情報であり、補助制度や講座等の内容が変更されている場合がありますのであらかじめご了承ください。
※掲載した取組事例は一例であり、本書をご覧になり、「私たちの地域ではこんな取組を実践している」という取組があればご紹介いただくと幸いです。



地域防災力向上のススメ -密集市街地の防災活動アイデア集-

発行 : 令和4(2022)年3月

編集/発行: 大阪市 密集住宅市街地整備推進プロジェクトチーム
〈事務局〉 大阪市都市整備局市街地整備部住環境整備課
密集市街地整備グループ

住所 : 大阪市北区中之島1-3-20

TEL : 06-6208-9234

E-MAIL : ka0019@city.osaka.lg.jp